

教育臨床心理実践センターだより

教育臨床心理実践センター発行
2012年9月発行 第5号

教育臨床心理実践センター主催公開講演会「教育臨床について考えるー東日本大震災の被災地におけるスクールカウンセラー活動の実際ー」実施報告

7月27日(金)午後3時～5時、F棟(共通講義棟)1階F12教室において、東日本大震災後、岩手県でスクールカウンセラーとして活動している渡部友晴先生(岩手県陸前高田市スクールカウンセラー)をお迎えして、この間の活動を中心にお話いただきました。渡部先生は、平成23年9月より岩手県沿岸での長期派遣スクールカウンセラーで、宮城へも月1回程度訪問されておられます。ご講演においては、1.岩手県沿岸部の状況、2.スクールカウンセラー活動の実際、3.今後に向けて、という内容にてお話いただきました。2.においては、面談、授業、表現活動、日常の関わりにおける具体的な工夫教えていただきました。たとえば、授業において、トラウマ反応について子どもに説明する際には、ドラえもんのかじられたエピソードを例とし、リラクゼーション法として、「顔じゃんけん」(阿部昇スクールカウンセラー開発)の紹介がありました。参加者で顔じゃんけん大会を行い盛り上がりました。3.においては、①回復への個人差、②生活ストレスへの対応、③防災教育と心のサポートとの関連づけ、という内容にてお話いただきました。ここでは、回復の度合いやスピードには個人差があることなどから、回復の個人差への対応が必要であること、生活環境の変化が長期化することで、ストレス反応はどのように出るのか、これから起こりそうな(あるいは既に起こり始めている)反応やサインの実際、生活ストレスへの対応の基本(環境調整やねぎらいや共感、ストレスマネジメント)、防災教育による安心感、安心感を持ちながらの防災教育の重要性について学びました。最後に、体験を教訓にしていくことを確認しました。参加者からは熱心な質問が多数寄せられ、大変有意義な講演会となりました。



附属学校園スクールカウンセラー報告

教育臨床心理実践センターは平成23年4月より桃山地区(附属桃山中中学校配置で、活動は他の学校園を含む)スクールカウンセラー岩瀬佳代子先生および京都地区(附属京都小中学校中高等部配置で、活動は初等部を含む)スクールカウンセラー荒井久美子先生を派遣しています。

桃山地区スクールカウンセラー
岩瀬佳代子

附属桃山地区では、昨年度よりも5日間勤務日を増やしていただき、試みとして今年度は月1回小学校、高校での相談日を設けました。その結果、それぞれの学校の先生方との連携がより深まり、児童生徒が、不適應の状況から段階的に適應へと向かうための個に応じた支援や応援ができてきていることを実感しています。中学校では月1～2回相談日を設け、保健室や職員室との連携を密に行っています。先生方にも保護者の方々にも信頼して活用いただき、お陰様で役割感と使命感をもって活動させていただいています。

平成24年度(4月～8月)相談全体

	来談者 カウンセリング	教職員 コンサルテーション
実相談件数	38	28
のべ相談件数	65	85

京都地区スクールカウンセラー
荒井久美子

京都地区での活動も2年目となりました。昨年度の同時期と比較しますと、来談者カウンセリングの数が増えているのはもちろんですが、教職員コンサルテーションの数が特に増加しています。昨年度、先生方と協力をしながら活動をさせていただけたことが、今年度の活動につながっていると感じます。また、保護者向けの教養講座で講師をつとめさせていただくなど、相談活動のみならず、予防・啓発活動にも参加させていただき、活動の広がりを感じているところです。

平成24年度(4月～8月)相談全体

	来談者 カウンセリング	教職員 コンサルテーション
実相談件数	21	29
のべ相談件数	43	37

心理教育相談室について

個人・家族・学校などの悩みや困った問題について心理的援助を行っています。まずは電話にて、お気軽にご連絡ください。075-644-8824(月曜～金曜、午前10時～午後4時)。なお、平成25年3月末まで、東日本大震災の被災者および東日本大震災に直接関連する相談は、無料で行います。

教育臨床心理実践センター・スタッフ

専任教員 教授 本間友巳(センター長) 准教授 花田里欧子
兼任教員 教授 森孝宏 准教授 内田利広 准教授 小松貴弘 講師 西村佐彩子
相談補佐員 岩瀬佳代子(月曜日) 荒井久美子(火曜日、金曜日) 西山智栄子(水曜日、木曜日)